



次世代に つなげる森林づくり

平成 30 年 4 月 24 日

◆平成三十年度、森林技術・支援センター
が取り組む課題等について項目で紹介し
ます。

◆本課題

- ① 保育作業の省力化による森林育成技術の確立
- ② エリートツリー植栽による下刈省力化試験
- ③ 竹を利用したシカ害対策について
- ④ 再造林地での効果的なシカの捕獲手法と捕獲後の影響及び捕獲効果の検証
- ⑤ 再造林地でのノウサギ食害対策についての五課題となっています。



開発中のノウサギ捕獲用箱ワナ



改良した箱ワナで捕獲したノウサギ

◆自主課題

- ① 植栽本数別試験(嶺北署)
- ② 植栽方法別の低コスト造林試験(安芸高知中部署)
- ③ 小型囲いワナによるシカ誘引・捕獲の向上と普及の推進
↳ 現地状況に対応した設置手法と普及



小型囲いワナによるシカ誘引・捕獲用でユアール



タイプ8は軽トラの荷台サイズ

※タイプ8は、軽トラの小型トラックで運べるシカ捕獲の「小型囲いワナ」が注目を集めました。
先日、林野庁で開催された「平成三十年度シカ対策事業発表会」において案内されたところ、他県等担当者より多くの意見等が寄せられました。全国的にはまだまだ普及・宣伝の必要があるのだなと感じました。

★当センターの職員が異動となりましたので紹介いたします。
【転出者】
★四年間在職しました、前副所長の池上永一氏は、高知中部署の森林技術指導官として異動となりました。
★企画係長、原崎万実子さんは、児童休業中でした。お世話になりました。

★今年度の当センター職員を紹介いたします。

★所長 三原 隆義
二年目となり、新たな発想でこじやんと頑張ります。

★副所長 那須 悟
企画官(技術開発・普及)より西側に異動となりました。心機一転頑張ります。

★企画官(技術開発・普及) 古味 敏光
技術普及課、企画官(民有林連携)より異動となりました。新たな気持ちで頑張ります。

★森林技術普及専門官 渡辺 督巳
「シカ囲いワナ」の普及・宣伝及び「ドローン」のスペシャリストとして頑張ります。

★行政専門員 森 孝幸
再任用で二年目に入ります。実技指導はお任せ下さい。

★行政専門員 隅田 雄二
再任用として最後となります。鞭打って頑張ります。

※以上、今年度もセンター職員一同、一致団結して技術開発の普及・宣伝・指導に頑張ります。皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

◆※情報の提供を！
技術開発に関するご意見・情報等をお寄せ下さい。

